

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
33121	市駅前広場整備事業	都市整備部	交通拠点整備課	2
52231	JR松山駅付近鉄道高架事業促進期成同盟会事業	都市整備部	交通拠点整備課	3
52231	松山駅周辺整備事業	都市整備部	交通拠点整備課	4

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	交通拠点整備課	担当G	市駅前広場整備担当	連絡先	948-6021	
部長等名	石井 朋紀	課等長名	林 佳菜	リーダー	村井 望	担当	樋谷 尚士	奥野 真治

1.事業概要【Plan】

事業名	市駅前広場整備事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
33121								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	広域拠点となる交通基盤を整備する			○	○	○	○	
施策	良好な交通環境の整備							
主な取組	公共交通機関の利便性向上		根拠法令	松山市立地適正化計画、松山市中心市街地活性化基本計画				
取組みの柱	公共交通の維持確保							
目的・背景	少子高齢化が進む中、「コンパクトシティ」を実現するため、これまで、ロープウェー街や道後温泉地区、花園町通りなどで、公共交通をはじめ、歩行者や自転車に配慮した「歩いて暮らせるまちづくり」を進めているが、今回、市内最大の交通結節点である松山市駅前広場を整備することで、公共交通の利便性向上や中心市街地の活性化につなげる。							
対象・内容	花園町通りと銀天街をつなぎ、1日約3万人の乗降客が行き交い、市内最大の交通結節点である松山市駅前広場で、公共交通の利用促進や乗り継ぎ利便性の向上のため、市内電車を郊外電車に近づけるとともに、賑わいを創出する「交流広場」を整備する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	土木費	項	都市計画費	目	都市計画整備費	
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度						
予算 (千円)	事業費計	155,862	777,587	2,513,065		主な経費 (千円) 【R5 決算】	松山市駅前広場道路 景観設計業務委託		69,651	
	国費・県費	77,796	386,643	1,224,881			松山市駅前商店街ファ サード整備事業補助金		44,830	
	市債	50,800	266,350	1,017,900			市道中之川通線路上 駐輪場整備工事		40,788	
	その他	26,800	124,294	263,981						
	一般財源	466	300	6,303						
決算 (千円)	事業費計	79,357	340,762			主な取組 内容 【R5】	令和6年2月から東西ロータリーの本格的な工事に着手したほか、市駅周辺の放置自転車対策として、令和6年3月に中之川通り路上駐輪場の供用を開始した。また、地元商店街が実施するアーケード撤去やファサード整備への支援を行った。			
	国費・県費	39,652	169,453							
	市債	20,300	90,900							
	その他	19,405	79,762							
	一般財源	0	647							
	(執行率)	51%	44%							
人役	正規職員	3.0	4.0	4.0		特記事項	交通事業者等との協議調整に時間を要したため、東西ロータリー整備工事などを令和6年度に繰り越した。			
	その他	0.0	0.0	0.0						
	合計	3.0	4.0	4.0						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果 指標	歩行者通行量の増加 (銀天街4丁目西口)	目標	—	—	—	22,460	事業中のため達成年度(完成後)に実績に対する評価を行う。		
		実績	16,256	16,940					
	単年で増	人/日	達成率	—	—				
成果 指標	松山市駅の乗降客数	目標	—	—	—	28,130	事業中のため達成年度(完成後)に実績に対する評価を行う。		
		実績	22,846	24,740					
	単年で増	人/日	達成率	—	—				
事業 評価	評価	その他							
	理由	事業中のため達成年度(完成後)に実績に対する評価を行う。							
課題	令和8年秋の完成に向けて、国の補助金確保や各種工事のスケジュール管理が重要となっている。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	令和8年秋の完成を目指しているため。		

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	交通拠点整備課	担当G	総務・補償	連絡先	648-6737	
部長等名	石井 朋紀	課等長名	村上 博	リーダー	兵頭 栄司	担当	河野 友里	永徳 祐介

1.事業概要【Plan】

事業名	JR松山駅付近鉄道高架事業促進期成同盟会事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5.補助金・負担金	
52231							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	特色ある都市空間を創出する		-	-	-	-	
施策	計画的な土地利用の推進						
主な取組	都市計画事業の推進	根拠法令	JR松山駅付近鉄道高架事業促進期成同盟会規約				
取組みの柱	JR松山駅周辺整備事業の推進						
目的・背景	<p>目的:観光都市である本市の陸の玄関口であるとともに、本市の中心市街地の一角を形成し、都市機能の集積が見られる一方、木造住宅が密集するなど、防災上の課題を抱える駅西側市街地の生活環境を整備し、地区の拠点性を高め、地域経済の活性化を図ることを目的とした松山駅周辺土地区画整理事業をはじめとする松山駅周辺整備事業を円滑に実施するため、事業実施の前提となるJR松山駅付近の鉄道高架事業の早期実施を目指すもの。</p> <p>背景:平成2年に設置された「松山鉄道高架検討協議会」で市内中心部の鉄道高架化について検討を行い、平成12年に予讃線を優先させることの結論を得たことから、JR松山駅付近のJR予讃線の鉄道高架化の早期事業化に向けた活動等を実施することを目的に、平成13年5月JR松山駅付近鉄道高架事業促進期成同盟会を設立したもの。</p>						
対象・内容	<p>【対象】 負担金の交付先:JR松山駅付近鉄道高架事業促進期成同盟会</p> <p>【事業内容】 JR松山駅付近鉄道高架事業促進期成同盟会へ負担金を支出 事業推進の機運を高め、事業の円滑な進捗を図るため毎年度総会を開催 国等関係機関に対し要望活動を実施</p>						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	土木費	項	都市計画費	目	都市計画総務費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	JR松山駅付近鉄道高架事業 促進期成同盟会負担金		528
予算 (千円)	事業費計	528	528	528					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	528	528	528					
決算 (千円)	事業費計	528	528			主な取組 内容 【R5】	・総会の開催 ・要望活動(愛媛県知事、国土交通省四国 地方整備局、国土交通省本省)		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	528	528						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	要望活動	目標	3	3	3	3	庁内外の調整を早期に行ったため。		
		実績	3	3					
	現状維持	回	達成率	100.0%	100.0%				
成果 指標	社会資本整備総合交付金の 内示率	目標	85	85	85	85	積極的な要望活動を実施し、事業の重要性 を理解いただいたため。		
		実績	85.8	86.6					
	現状維持	%	達成率	100.9%	101.9%				
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	事業推進に対する地元の機運醸成と、要望活動により、事業の執行に十分な国費を確保することができたため。							
課題	特になし			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	高架事業の完了に向けて活動している ため。		

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	交通拠点整備課	担当G	総務・補償	連絡先	648-6737	
部長等名	石井 朋紀	課等長名	村上 博	リーダー	兵頭 栄司	担当	河野 友里	永徳 祐介

1.事業概要【Plan】

事業名	松山駅周辺整備事業		事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)		事業区分	1:直営	
52231								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	特色ある都市空間を創出する			○	○	○	○	
施策	計画的な土地利用の推進			○	○	○	○	
主な取組	都市計画事業の推進		根拠法令	土地区画整理法、松山広域都市計画事業松山駅周辺土地区画整理事業施行に関する条例				
取組みの柱	JR松山駅周辺整備事業の推進							
目的・背景	<p>目的:愛媛県によるJR松山駅付近連続立体交差事業にあわせて、本市が松山駅周辺土地区画整理事業、関連街路事業及び路面電車の駅前広場内引込み等により、松山駅周辺地区の一体的な整備を図り、「県都の陸の玄関口」にふさわしい魅力あるまちづくりを実現する。 背景:平成2年に設置された「松山鉄道高架検討協議会」で市内中心部の鉄道高架化について検討を行い、平成12年に予讃線の高架化を優先するとの結論を得る。以後、鉄道高架事業の事業化に向けて調査検討及び国・県に対し要望活動を行うとともに、連続立体交差事業と一体となった市街地整備を図るため、松山駅周辺の土地区画整理事業についても計画策定を進め、平成20年2月に土地区画整理事業及び関連街路が都市計画決定され、平成20年6月に事業計画認可の告示を行い、現在、県が実施する連続立体交差事業と一体となって事業に取り組んでいる。</p>							
対象・内容	<p>【対象】JR松山駅周辺地区約16.7haの区域、地権者約170人 【事業内容】 ・松山駅周辺地区約16.7haの区域で土地区画整理事業を実施 ・東口駅前広場の拡張再整備、西口駅前広場の新設整備 ・松山駅北東西線の整備 ・松山駅周辺地区のまちづくりの方向性の検討、JR車両基地跡地活用の検討</p>							

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	土木費	項	都市計画費	目	松山駅周辺整備費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	建物移転補償		238,507
予算(千円)	事業費計	1,751,240	1,852,763	1,862,766					
	国費・県費	658,750	759,198	694,548					
	市債	938,500	937,400	937,900					
	その他	77,810	118,277	206,916					
	一般財源	76,180	37,888	23,402					
決算(千円)	事業費計	975,250	791,336			主な取組内容【R5】			
	国費・県費	423,874	343,370						
	市債	474,600	370,400						
	その他	43,270	54,282						
	一般財源	33,506	23,284						
	(執行率)	56%	43%						
人役	正規職員	18.0	16.0	17.0		特記事項	家屋の撤去・移転に係る補償交渉に不測の日数を要したため。		
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	18.0	16.0	17.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	事業による整備面積	目標	5	5.5	5.6	16.7	既存の地下構造物が当初想定していたより非常に多く、撤去作業に時間がかかったため、工事に遅れが生じた。		
		実績	4.2	4.8					
	累計で増	ha	達成率	84.0%	87.3%				
成果指標	元の所有者に返還できた土地の数	目標	140	140	140	180	一部、補償契約に時間を要し、工事が遅れたことで、元の所有者への土地の返還が延期となった。		
		実績	121	124					
	累計で増	画地	達成率	86.4%	88.6%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	地下構造物の撤去作業や補償交渉に想定より時間がかかったことで工事に遅れが生じ、元の所有者への土地の返還が延期となったが、事業全体としては適正に進行しているため。							
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	令和8年度事業終了のため。		